

2021年2月8日
三菱商事ライフサイエンス株式会社

『コージェネ大賞』優秀賞(産業用部門)の受賞について

三菱商事ライフサイエンス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藤木 洋）および子会社の興人ライフサイエンス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：篤田 崇広）は、一般財団法人コージェネレーション・エネルギー高度利用センターが主催する2020年度「コージェネ大賞」に日鉄エンジニアリング株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：石倭 行人）と共同で応募し、産業用部門において「優秀賞」を受賞いたしました。



「コージェネ大賞」は、新規性・先導性・新規技術および省エネルギー性などにおいて優れたコージェネレーションシステムを表彰し、同システムの有効性について認知向上を図るとともに普及・促進に繋げることを目的としています。

今回の受賞は、『天然ガスと既設の蒸気タービンを有効活用した高効率のガスタービンコンバインドサイクルの導入によるSDGsへの貢献～興人ライフサイエンス株式会社佐伯工場への導入事例～』についてなされたものです。

興人ライフサイエンス株式会社佐伯工場（大分県佐伯市、工場長：寺田 行宏）は、三菱商事ライフサイエンスグループ（以下、当社グループ）の重要な生産拠点であり、生産量増加による環境負荷増大への対応が求められていました。そこで、同工場では、大幅なCO₂削減を狙い、LNGサテライトによる天然ガスを導入し、エネルギーの低炭素化を図るとともに、ガスタービンコージェネと既設蒸気タービンを組み合わせたガスタービンコンバインドサイクル化という画期的な手法を導入し、発電電力増と、電力系統への貢献も実現しました。また、新システム導入により、災害時、電力系統事故時にも工場の生産活動が継続可能となり、強靭性の向上も図られています。SDGsの目標でいえば、「7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」、「13. 気候変動に具体的な対策を」等の各種SDGs達成に貢献しています。



当社グループでは、今後とも「地球環境への配慮」を旨に持続可能な発展を目指し社会に貢献します。

【このリリースに関するお問い合わせ先】

三菱商事ライフサイエンス株式会社

問い合わせ窓口 : Mail : prgroup_mcls@mcls-ltd.com